

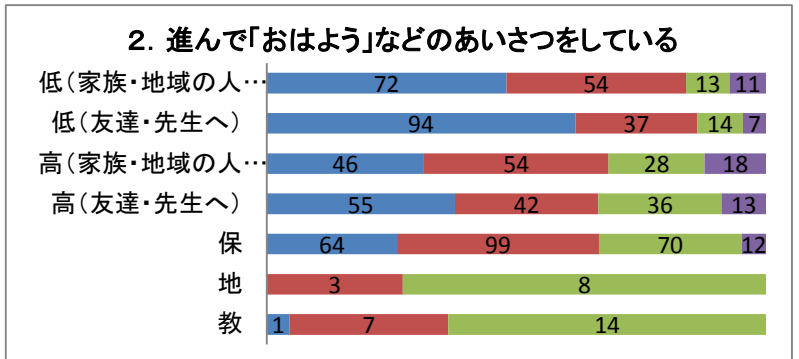
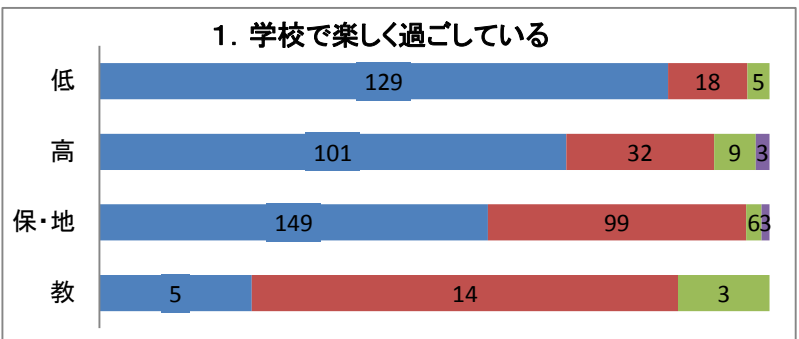
納所だよい

学校評価 報告号

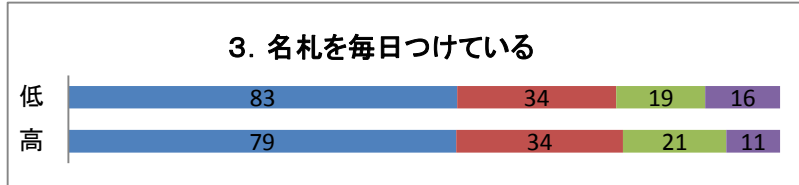
TEL 075-631-2032

平成26年10月15日
京都市立納所小学
校長 天野 聖子

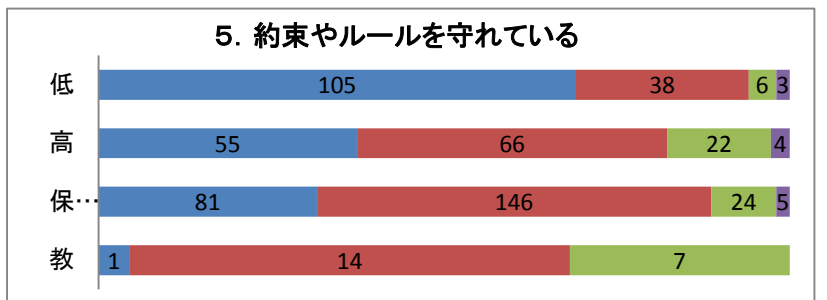
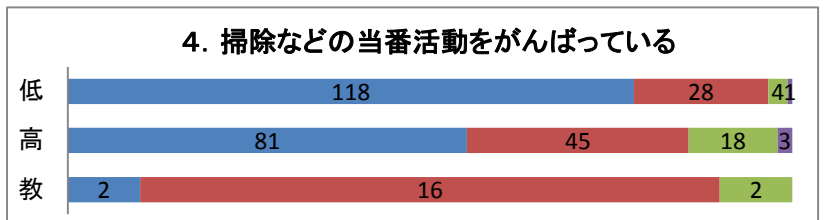
低〔低学年〕 高〔高学年〕 保〔保護者〕 地〔地域〕 教〔教職員〕
* 教職員の結果については、立場によって無回答の項目もあります。



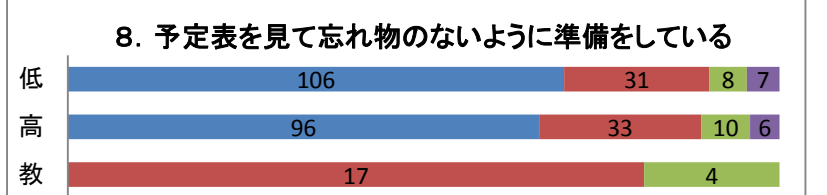
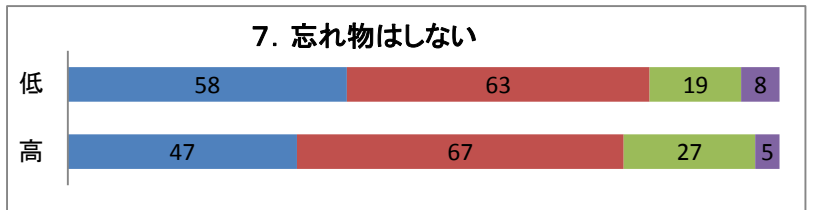
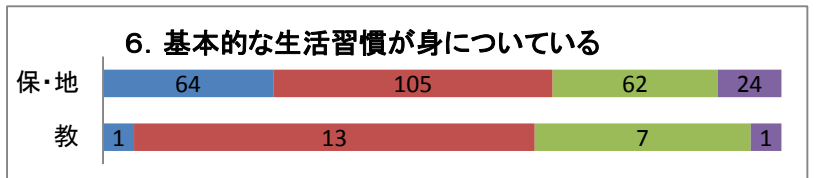
1については、学校はなかま（友だち）がいて楽しく学べる場であってほしいものです。ほとんどの子が楽しく過ごしていると答えている中、そうでないと答えている子どももいるということを教職員は心に留め、日々の様子をていねいに見つめていきたいと考えます。2については、あいさつができる子とできていない子が両極端です。特にできていない子は朝のあいさつが弱いようです。あいさつができるにとどまらず、自分から気持ちのよいあいさつができる子が増えていけるよう声かけしていきたいです。



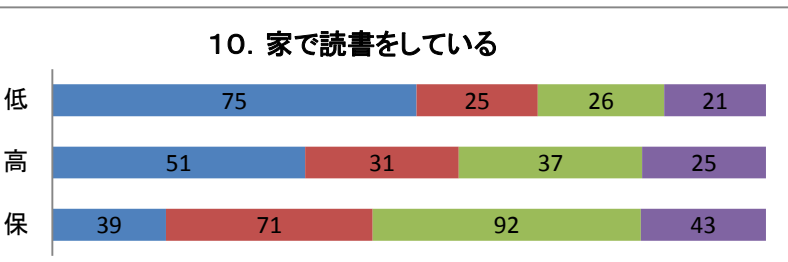
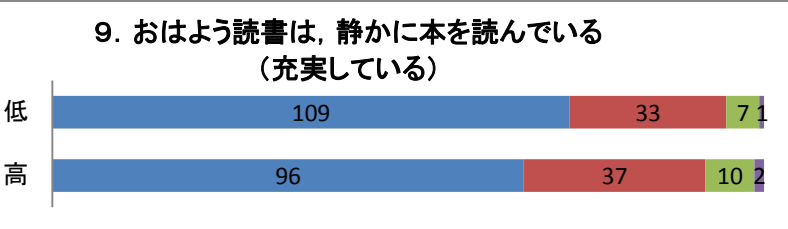
学校評価へのご協力ありがとうございました。子ども達の意識・実態，そして保護者や地域の方のお考えや思い，教職員の認識や願いを考察し，子ども達のよりよい成長へとつなげていきたいと考えます。皆様のお力添えを 今後と



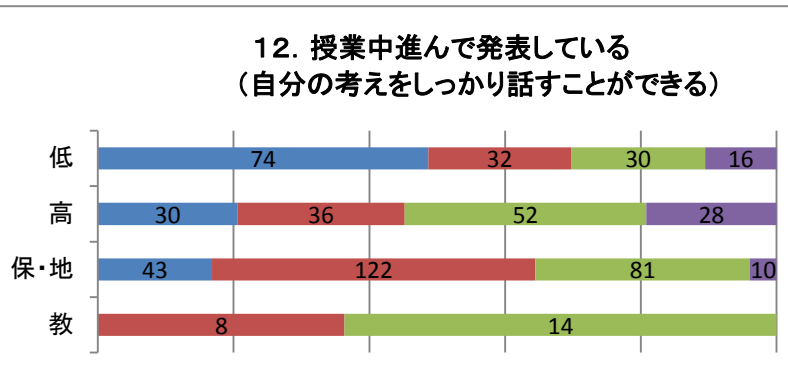
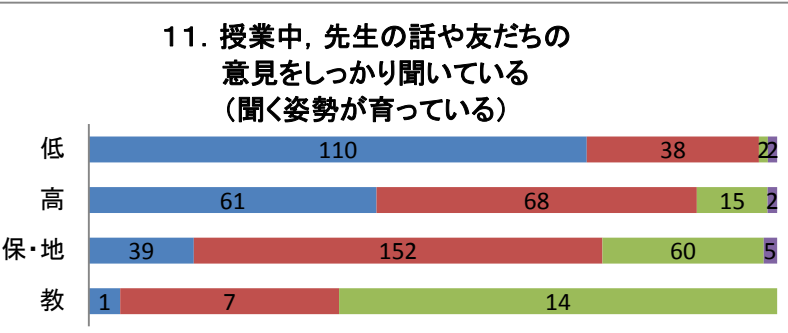
3・4・5については、高学年の方がよくできるが減っています。学校のきまりや掃除などの活動は、高学年ががんばって、低学年が見習います。高学年の子どもたちががんばれる学校にしていきたいです。また、小さな崩れを見逃さず、規範意識を向上していけるよう指導も重ねていきたいと思います。



6・7・8・では、学習に向かう姿勢ができているか？という点が気になります。学習に向かうために寝不足になっていないか？学習の準備はできているか？など、気になる子は少なくありません。各家庭での協力が必要不可欠です。基本的な生活習慣をしっかりと整えていきましょう。

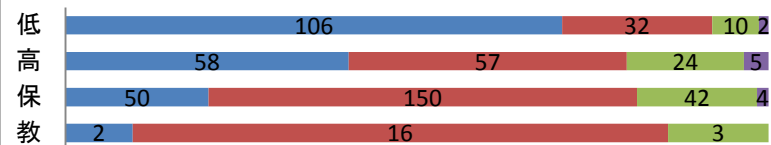


9・10の朝の10分間読書は、朝の子どもたちの登校から一転、静かな空気が流れます。おはよう読書はどの学級も1日の始まりとして習慣化しています。文字を読み、心でイメージを広げる読書は「心の栄養」としても大きな意味を持っています。家でも読書が楽しめるよう、図書の貸し出しなどもご利用ください。

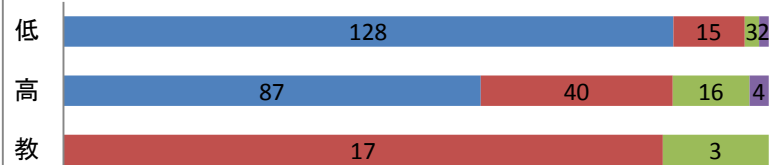


11・12については、学力とかかわる大きな2つの力です。学校だけでなく社会に出ても重要な力です。しっかり聞いていなければ、考えることも答えることもできません。また、自分のおもいを人に伝える表現力も必要です。学校教育活動の中で、力をつけていけるよう意識して取り組んでいきたいと考えます。

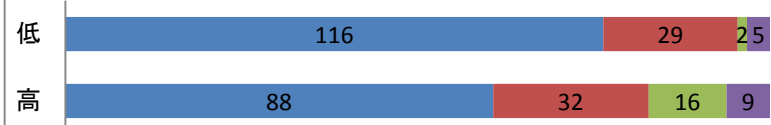
13. 授業はよくわかる (充実した授業となるよう工夫している)



14. 1・2の算国をがんばっている (充実している)



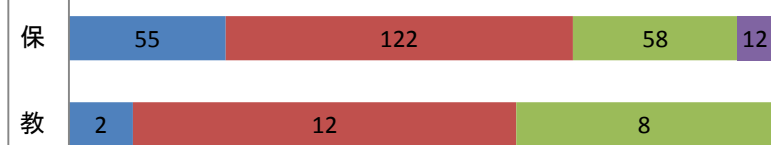
15. 宿題は必ずしている



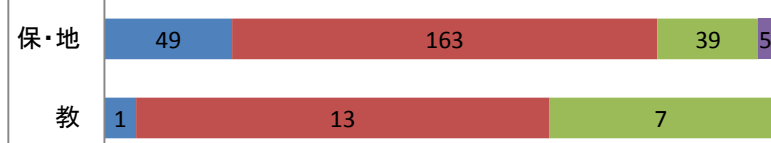
16. 宿題以外の勉強(予習・復習)もしている



17. 家庭学習の習慣は身についている

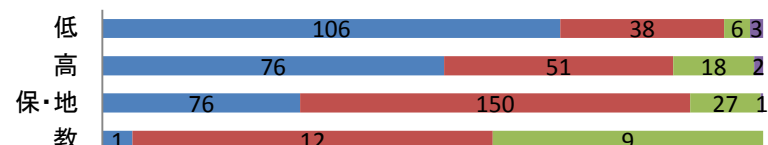


18. 基本的な学力は身についている

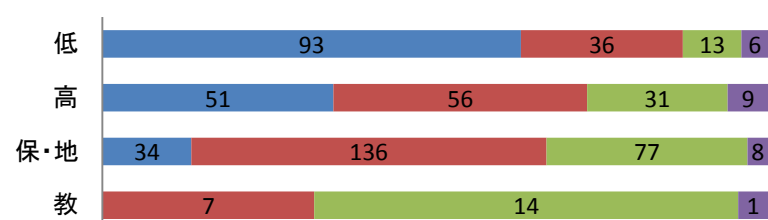


13・14・15・16・17・18の中で、16の宿題については、ほとんどの子がやっていますがやりきれていない子が気になります。17の宿題以外の学習においては、本来、高学年の方がよくしているのが、あるべき姿であるのに、おうちの方がよく見ていただいている低学年のほうががんばれている子が多いようです。家庭学習も学力向上には大切な要素です。自学自習のやり方をしっかり身につけ、高学年の子どもが将来に向けて、がんばっていけるようにしていきたいと思います。ご家庭でも中学校を見据えてのサポートをお願いします。

19. 友だちを大切にし、やさしくしている (自分や人を大切にするやさしさや思いやりが育っている)



20. 相手に対し、ことばづかいに気をつけている

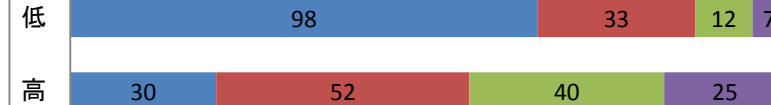


19・20を見てみると大半の子どもたちは友だちに対して優しい・思いやりの気持ちはもっています。ただ、いざという場面になると自分中心の考えになったり、相手のことを考えられない場面もあります。頭ではわかっているても実行行動が伴わないことがあります。それが、言葉遣いなどでは顕著に表れているのではないのでしょうか。言葉づかいをはじめとして、自分にも人にも優しさを出せる子どもをみんなで育てていきたいと考えます。

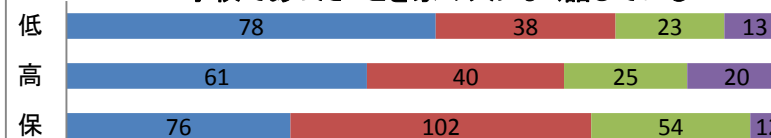
今回の学校評価 報告号は平成26年7月に実施した学校評価アンケートを集計し、まとめたものです。

次回、学校評価2回目は、12月上旬に予定しています。ご協力、よろしくお願い致します。
※同時配布の平成26年度全国学力学習状況調査の結果も合わせてごらんください。

21. 困ったことやわからないことは、先生に相談している



22. 学校であったことを家の人によく話している



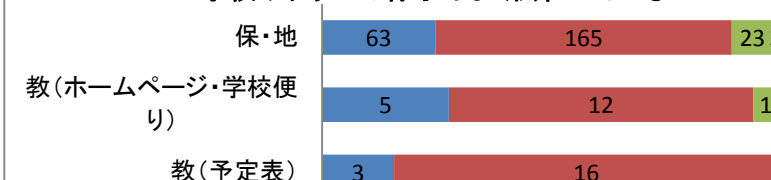
21・22については、日々の様々なことを家族や先生に話せるということは心の安定や成長の面から大切なことです。学校のことをよく話せるのは発達段階もありますが、やはり低学年の方です。子どもたちにとって困ったことや悩みを話せる場で一番大きな支えとなるのはやはり、家庭ではないでしょうか。お家で学校の話などをよく聞いてあげてください。

23. 家の仕事や手伝いをよくする



23については、学校では与えられた係や当番の活動はがんばっていますが、自分から進んですることや、しっかり最後までやりきる点については課題があります。また、家庭でのお手伝いができている子が少ないように思います。ご家庭でも自分の役割(家庭での役割)をもっとがんばれるのではないのでしょうか。

24. 学校やクラスの様子はよく伝わっている



24については、保護者・地域ともに多くの方に学校・クラスの様子は伝わっていると評価していただいています。しかし、うまく伝えきれていないところもあり、工夫・改善は必要です。今後も学校の様子がよりよく伝えていけるよう、努力していきたいと思っています。